

平成 27 年度 技術委員会の事業計画

1. 事業概要

技術委員会は、会員企業の技術者及び技能者のレベル向上を事業目的の柱とし、三つのテーマに取り組む。

- (1) 品質・安全・環境・コスト等に関する技術の提供
- (2) ばねづくり技能の習得・向上及び伝承
- (3) ばね設計技術の向上

2. 活動の詳細

2.1 品質・安全・環境・コスト等に関する技術の提供

- (1) 講習会及び見学会の開催、支部毎にニーズを反映して実施する
- (2) ばねの技術相談制度の充実
- (3) 技術資料の機関誌及びホームページへの掲載
- (4) 日本ばね学会と連携した調査・研究の推進と会員への技術情報提供
 - ・ 技術交流会の開催
情報・意見の交換を行ない、活動の連携、意思疎通をはかる。
 - ・ 平成 27 年度の委託研究テーマ
継続テーマ…「圧縮コイルばねの温間へたりに関する研究」
 - ・ 「ものづくりセミナー」の共催
 - ・ 「若手技術者交流会」への後援

2.2 ばねづくり技能の習得・向上及び伝承

金属ばね製造技能士の資格取得を支援する。

- (1) 各支部にて講習会開催（目標 支部毎 2回以上）
- (2) 優良ばね製造技能者（複数の技能士資格保有者）認定者数の向上
会員への表彰制度周知と、技能者の資格取得の意欲向上を狙った広報活動など
全体目標 プラチナ賞 6名以上、金賞 15名以上、銀賞 30名以上
- (3) ばねハンドブックの改訂
平成 29 年 3 月の改訂版発行を目指し、改訂・執筆作業を進める。

2.3 ばね設計技術の向上

本部あるいは支部において以下の設計技術講習会を開催する。

- (1) 基礎知識習得推進を目的として、「ばね技術初級講座」等を開催する。
- (2) 設計技術向上を目的として、「ばね技術中級講座」等を開催する。
- (3) 周辺技術向上を目的として、「熱処理、表面処理、品質、原価関連講習会」等を開催する。
- (4) 専門技術の習得を目的として、「破壊・破面解析に関する講座」等を本部事業として開催する。